

Patentfield徹底活用ガイド：AI×人による知財実務の最適化

AIと人的判断の最適な役割分担を理解し、大量特許処理を最適化する。

Patentfieldは検索・分類・分析を融合した知財プラットフォームです。
効果的な運用のカギは、AIが得意とする「大量データの一次絞り込み・構造化」と、
専門家が行う「権利範囲の解釈や最終判断」を明確に切り分けることにあります。

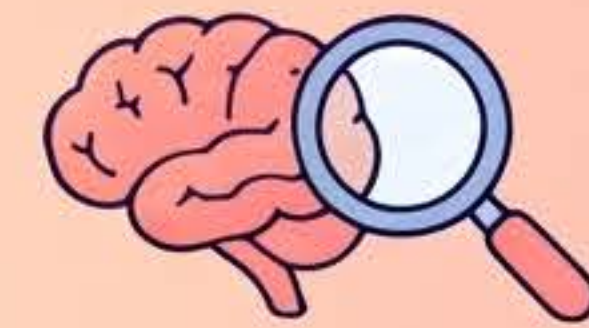
主要業務におけるAIと人の役割分担

SDI（継続監視）：
AIの優先順位付けと
人の重要案件判定

AI分類予測で読む順序を最適化し、人間
が重要判定と学習データの修正を行う。



AI分類予測



人間が重要判定と
学習データの修正

FTO（侵害予防）：
構成要素検索と
人の請求項判定

AIで構成・材料別に候補を集め、現行請求
項と製品仕様の対比は人間が精査する。



AIで構成・
材料別に候補



人間が現行請求項と
製品仕様を対比

IPランドスケープ：
概観把握と経営提案の
紐付け

AIサマリーで技術傾向を整理し、自社事業
に繋がる解釈や仮説構築を人間が担う。



AIサマリーで
技術傾向



人間が自社事業に繋がる
解釈や仮説構築

実務で失敗しないための運用注意点



適合率と再現率の区別
(ノイズ削減≠取りこぼしゼロ)

DEFINITION

AIの適合率向上はノイズ低減を意味し、
無効資料調査等の完全網羅を保証しない。

検索対象（原文 vs AIサマリー）の使い分け



原文

VS



AIサマリー

初期設定の要約検索で漏れる数値範囲や材料は、
原文検索を併用して確認する。